日本行動計量学会第51回大会

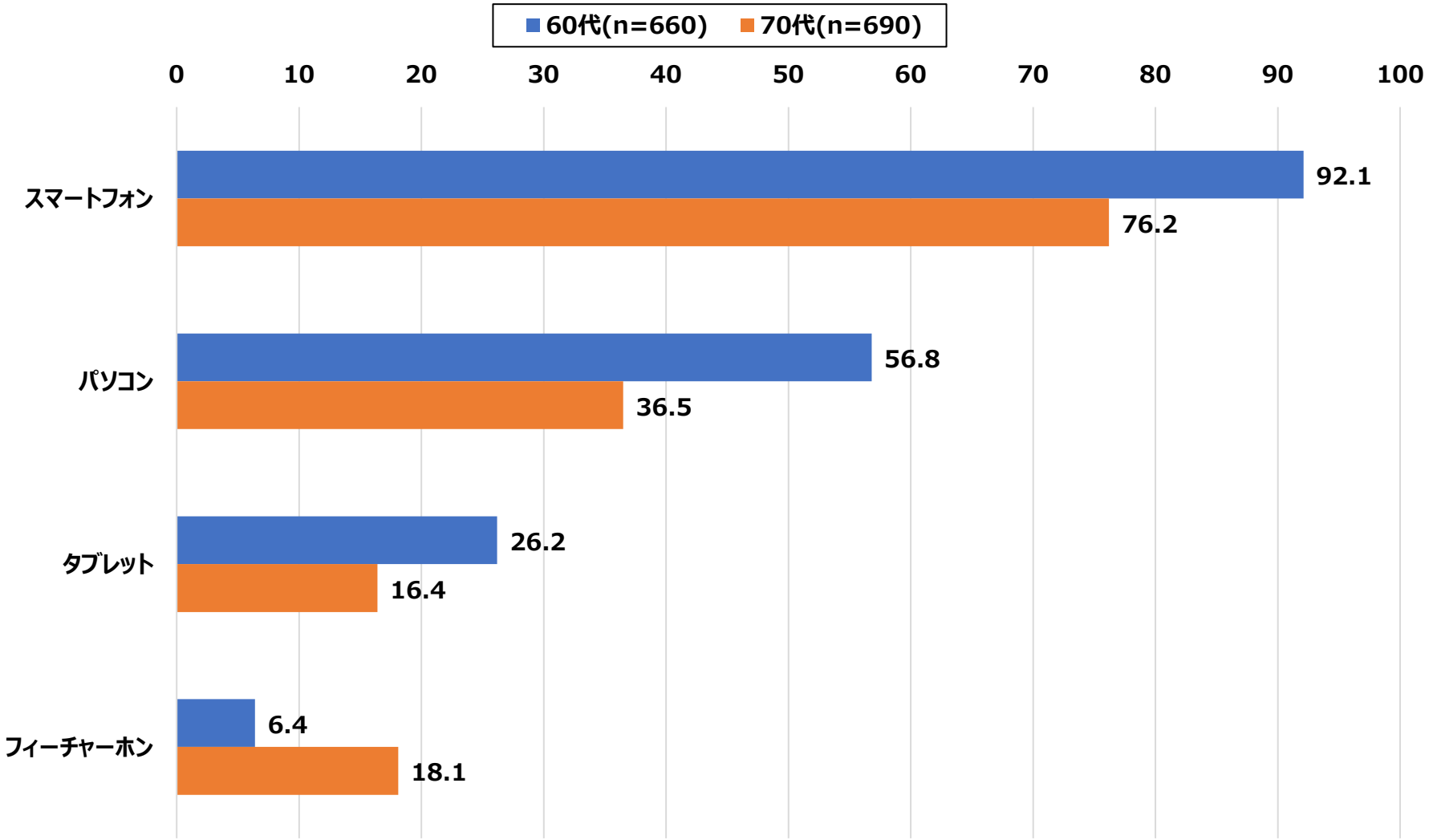
2023年8月29日

ICT機器別に見る利用が高いシニアの特性分析
―ICT利用のライフスタイル研究―

〇水野　一成　　（株式会社ＮＴＴドコモ　モバイル社会研究所）
飽戸　弘　　（東京大学名誉教授）

研究背景（ICT機器所有状況）

何らかのICT機器を60代は97.7%　70代も94.2%所有している



※パソコン・タブレットは家族所有も含む

高齢者がICTを利活用するとQOLに対し肯定的な影響が見られる

シニア層がインターネットの利用頻度が高いと、**社会的活動が促進**される 桂瑠以・橋本和幸(2019)

シニアがインターネットをコミュニケーションで利用することで、**健康度自己評価や幸福度が高い**
太田康博・斉藤雅茂・中込敦士・近藤克則(2022)

非対面交流中心であっても、主観的健康に寄与する
福定正城・斉藤雅茂・近藤克則・斎藤民（2022）

情報に関することを中心に購買行動やペーパーレスに関して**生活の変化**
水野一成・近藤勢津子・吉良文夫(2022)

⇒QOLや社会的活動の分野で多く実証され、利活用が活発な層が明らかにされているが、ICT機器の多寡に着目した研究結果は多くない

目的

シニア層においてスマホ・パソコンの利用時間多寡による特性を明らかにする

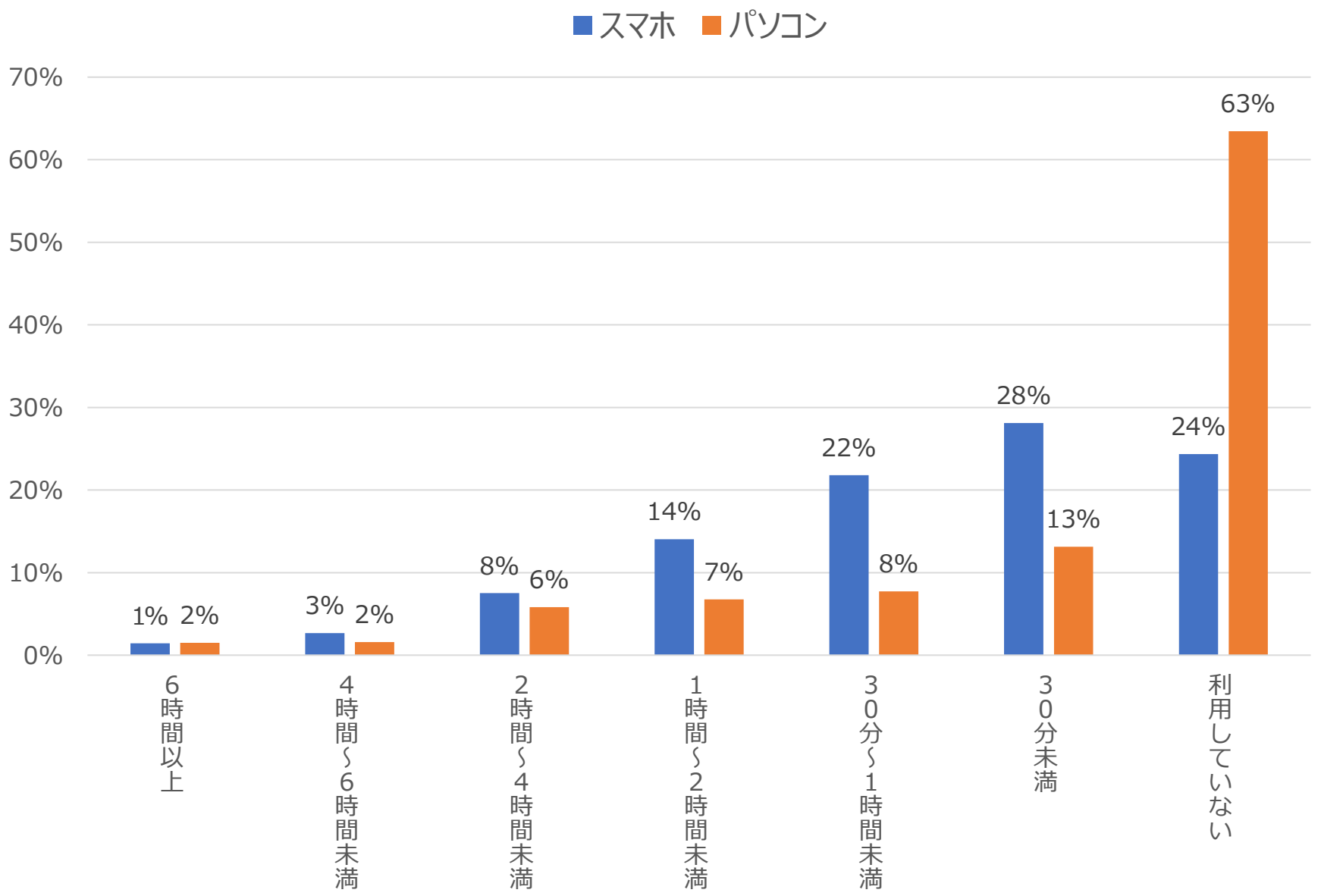
分析の流れ

①スマホ及びパソコンの利用時間を基に数量化理論第Ⅱ類を用いて特性を分析
②①の結果を基に考察

調査概要

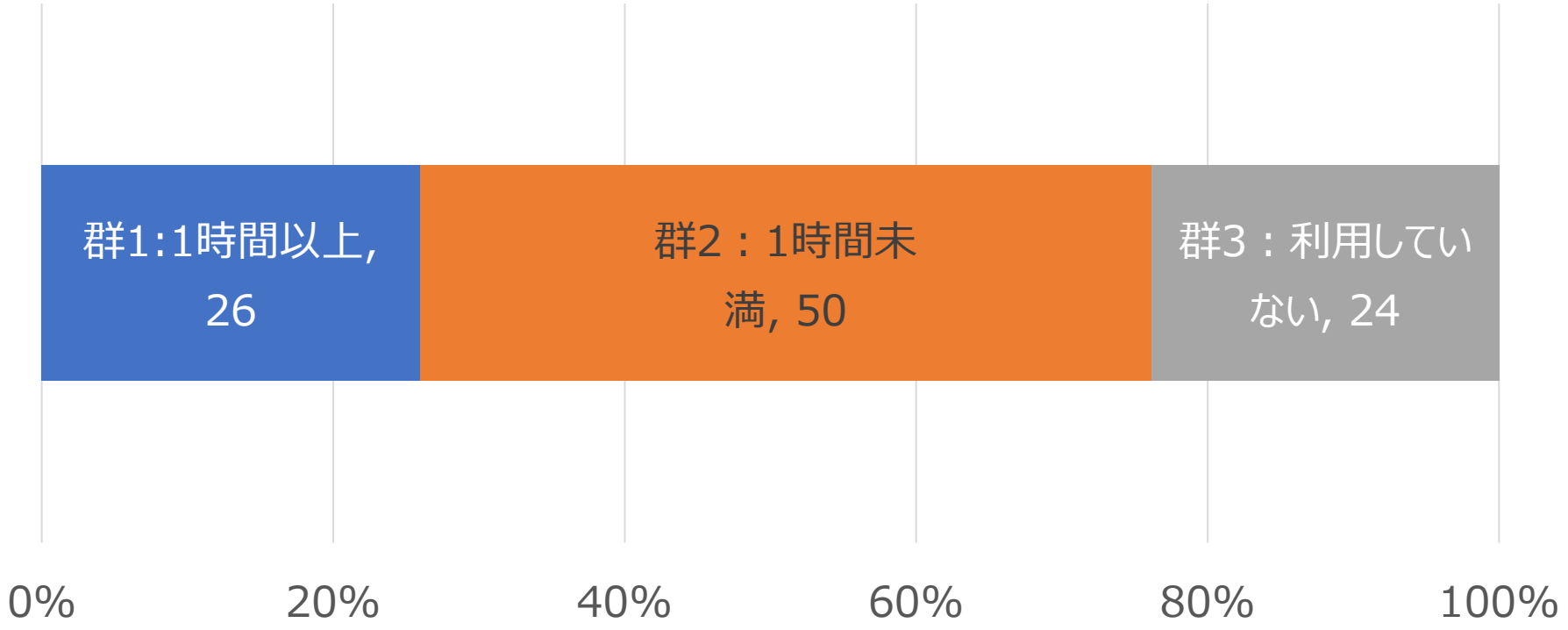
調査時期	2023.1
調査方法	訪問留置調査法
調査対象	全国，60代及び70代
割付	性別・年齢・都道府県・都市規模
サンプル数	1350

ネット利用時間


スマホ
パソコン
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
1%
2%
3%
2%
8%
6%
14%
7%
22%
8%
28%
13%
24%
63%
6時間以上
4時間～6時間未満
2時間～4時間未満
1時間～2時間未満
30分～1時間未満
30分未満
利用していない

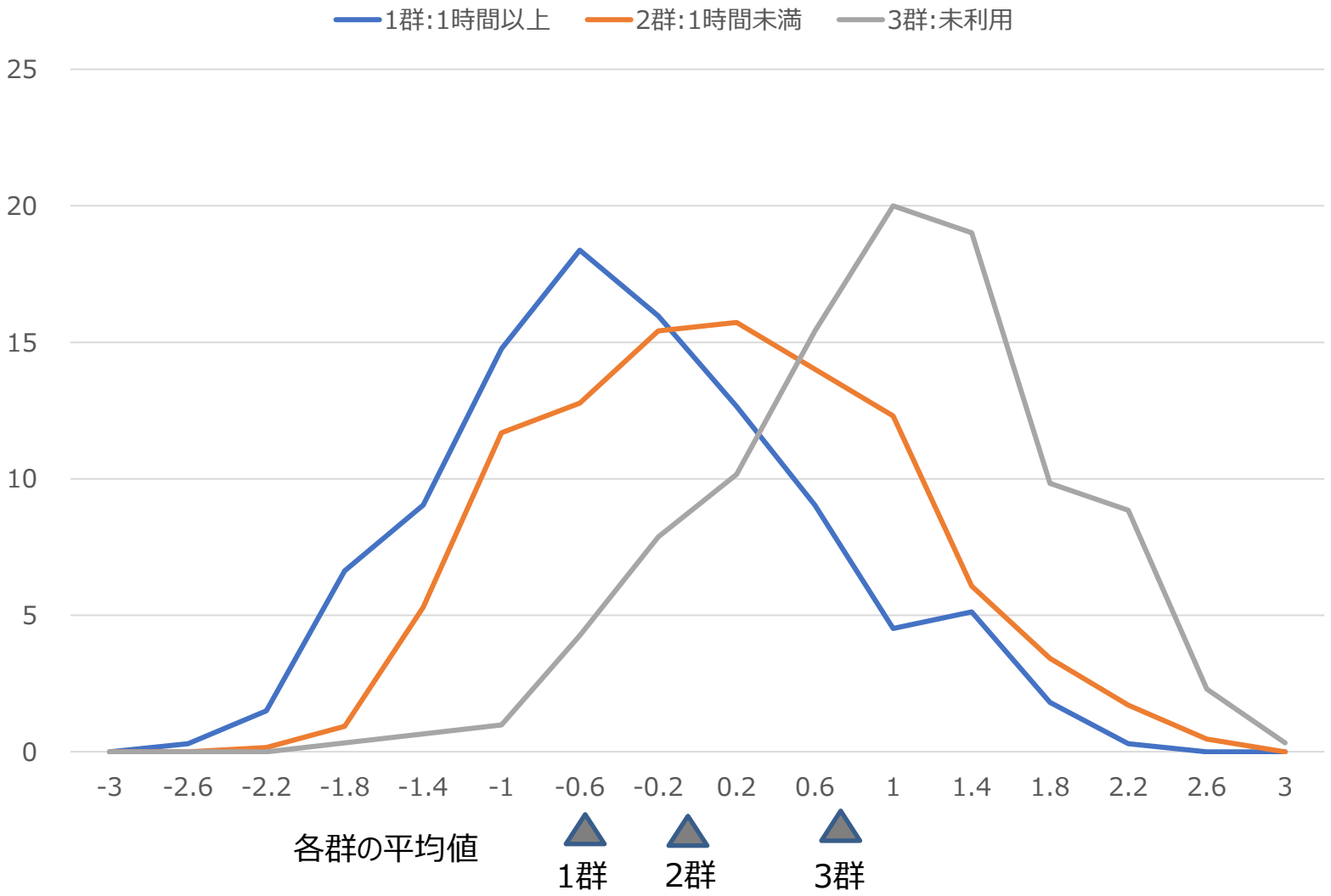
スマホの利用時間

スマホの利用時間の結果より3群にわける



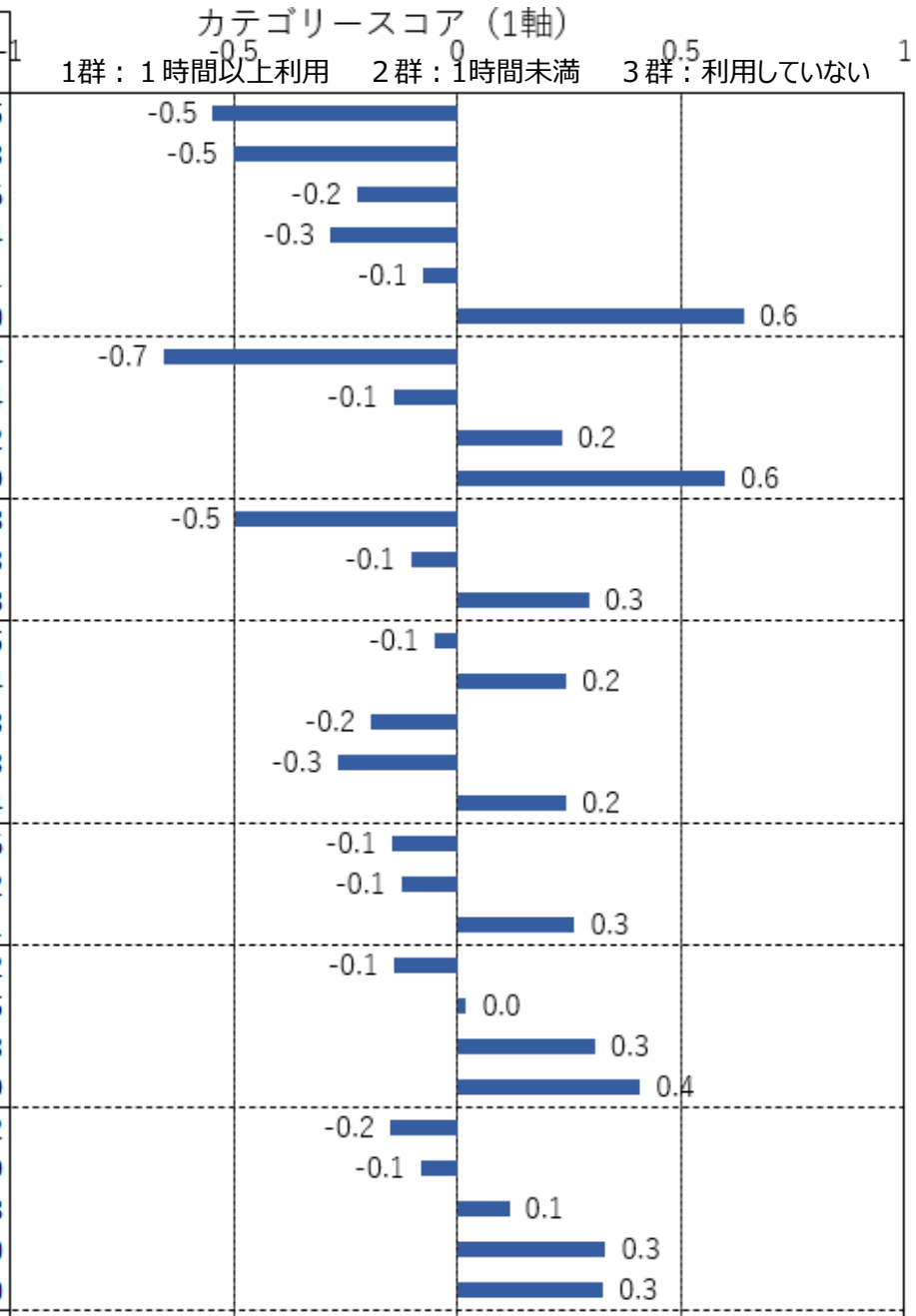
1軸は判別グラフ及び各群の平均値より「1群：高利用」と「3群：未利用」を分ける軸と解釈

相関比$\eta^2 = 0.217$　判別的中率64.1%　寄与率84.7%



カテゴリースコア（偏相関係数上位）

アイテム名	カテゴリー名	n
仕事でPCを利用	20代以前	135
	30代	173
	40代	256
	50代	204
	60代以降	71
	利用していない	440
年齢	60代前半	304
	60代後半	334
	70代前半	372
	70代後半	269
即時遅延	即時	178
	中間	593
	遅延	508
現在の仕事	正規	215
	自営	184
	非正規	283
	主婦・主夫	243
	無職	354
地域	関東	506
	近畿・東海	332
	他	441
外出頻度	毎日	622
	週２～3日	425
	週１日	153
	月１～２以下	79
移動手段	鉄道	172
	自動車	789
	バス	68
	自転車・バイク	190
	徒歩のみ	60



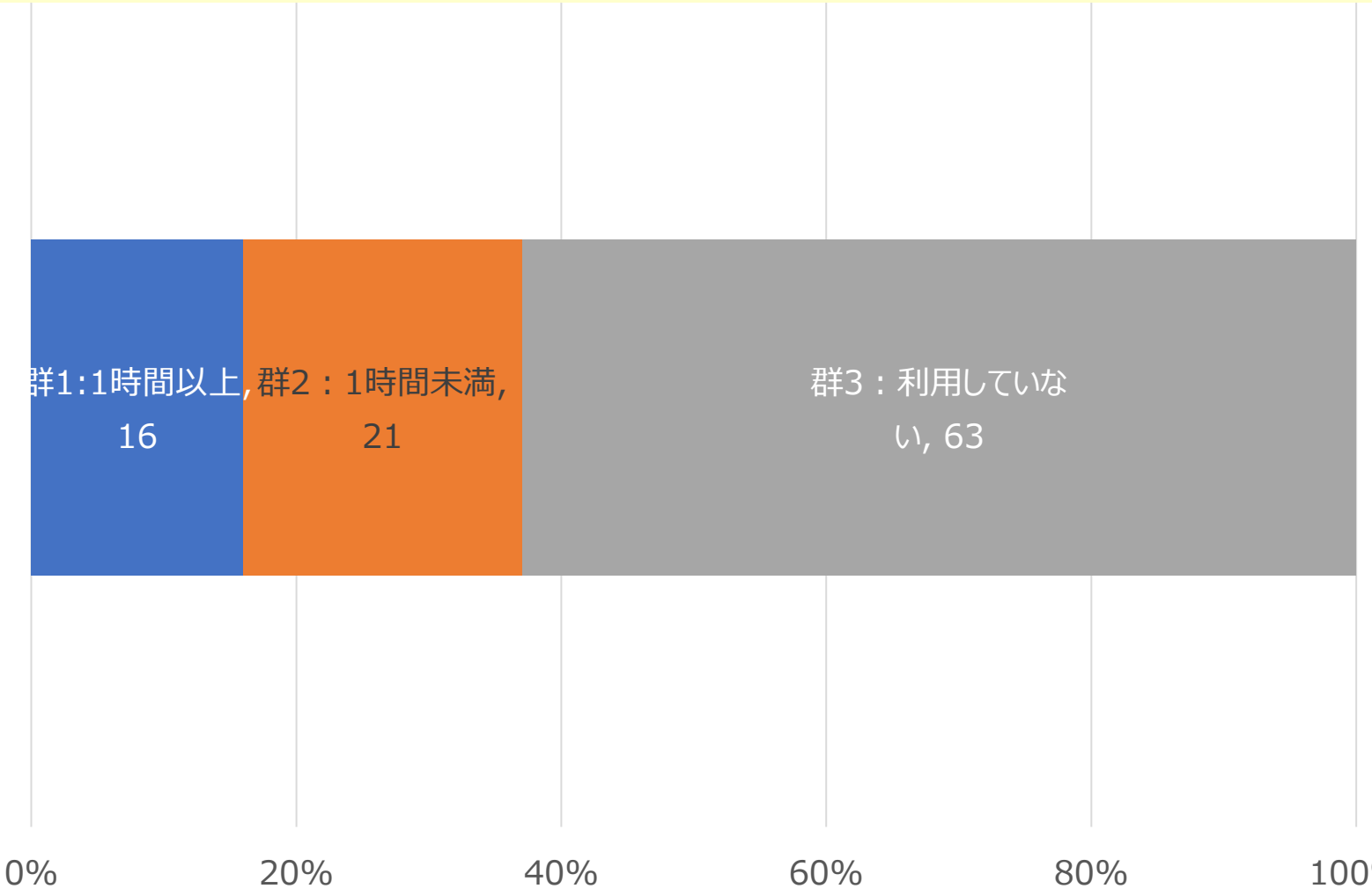
カテゴリースコア（偏相関係数下位）

1群：１時間以上利用　２群：1時間未満　３群：利用していない

性別	男性	610	0.2
	女性	669	-0.2
経済的ゆとり	ある	89	-0.1
	ある程度	583	-0.1
	あまり	468	0.1
	ない	139	-0.1
イノベータ得点	高い	273	-0.2
	中間	734	0.0
	低い	272	0.1
都市規模	政令	350	-0.1
	20万人以上	308	0.0
	10万人以上	201	0.1
	10万人未満	420	0.1
時間的ゆとり	ある	384	-0.1
	ある程度	621	0.1
	あまり	225	0.0
	ない	49	0.0

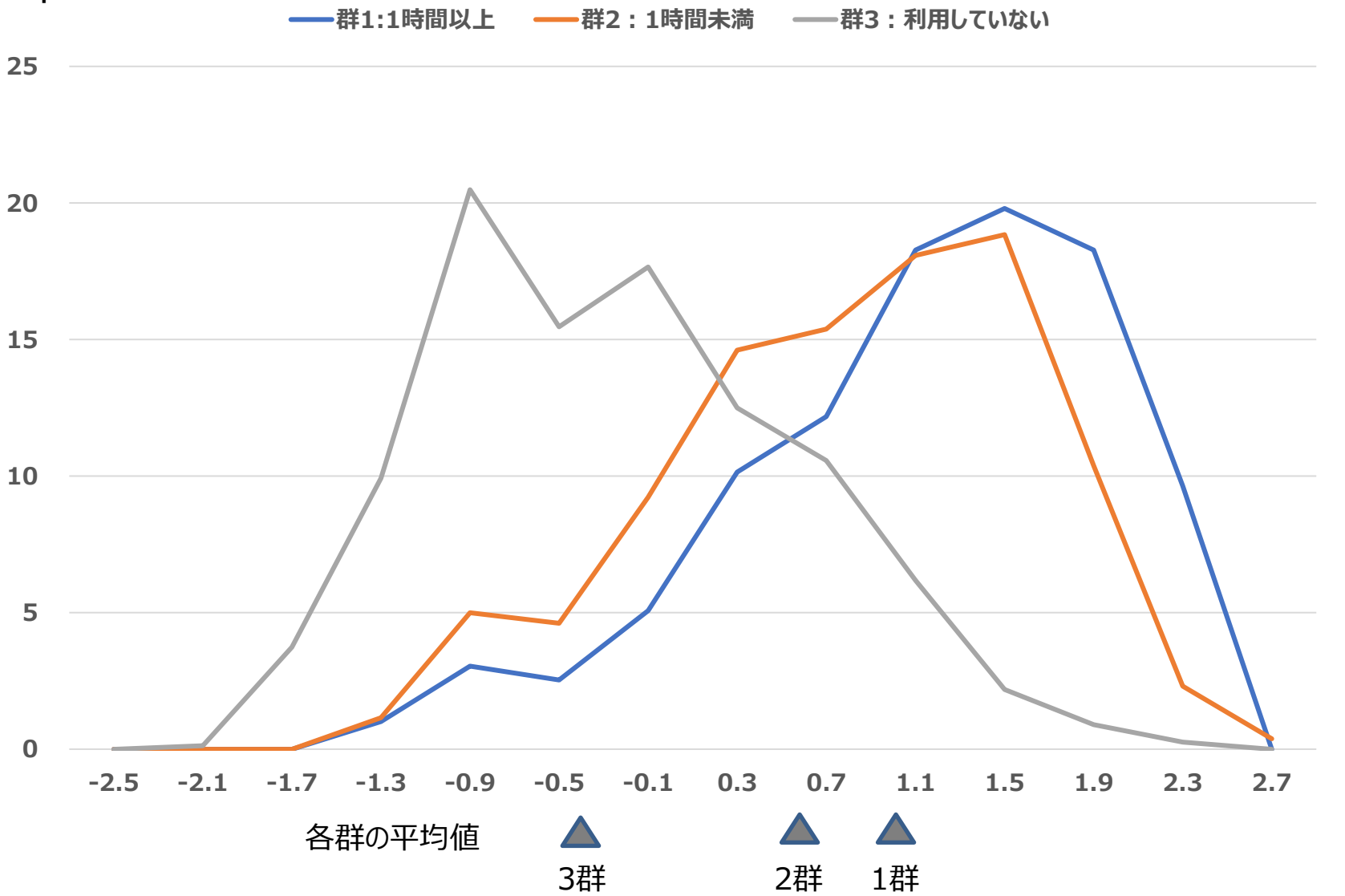
パソコンの利用時間

パソコンの利用時間の結果より3群にわける



1軸は判別グラフ及び各群の平均値より「1群：高利用」と「3群：未利用」を分ける軸と解釈

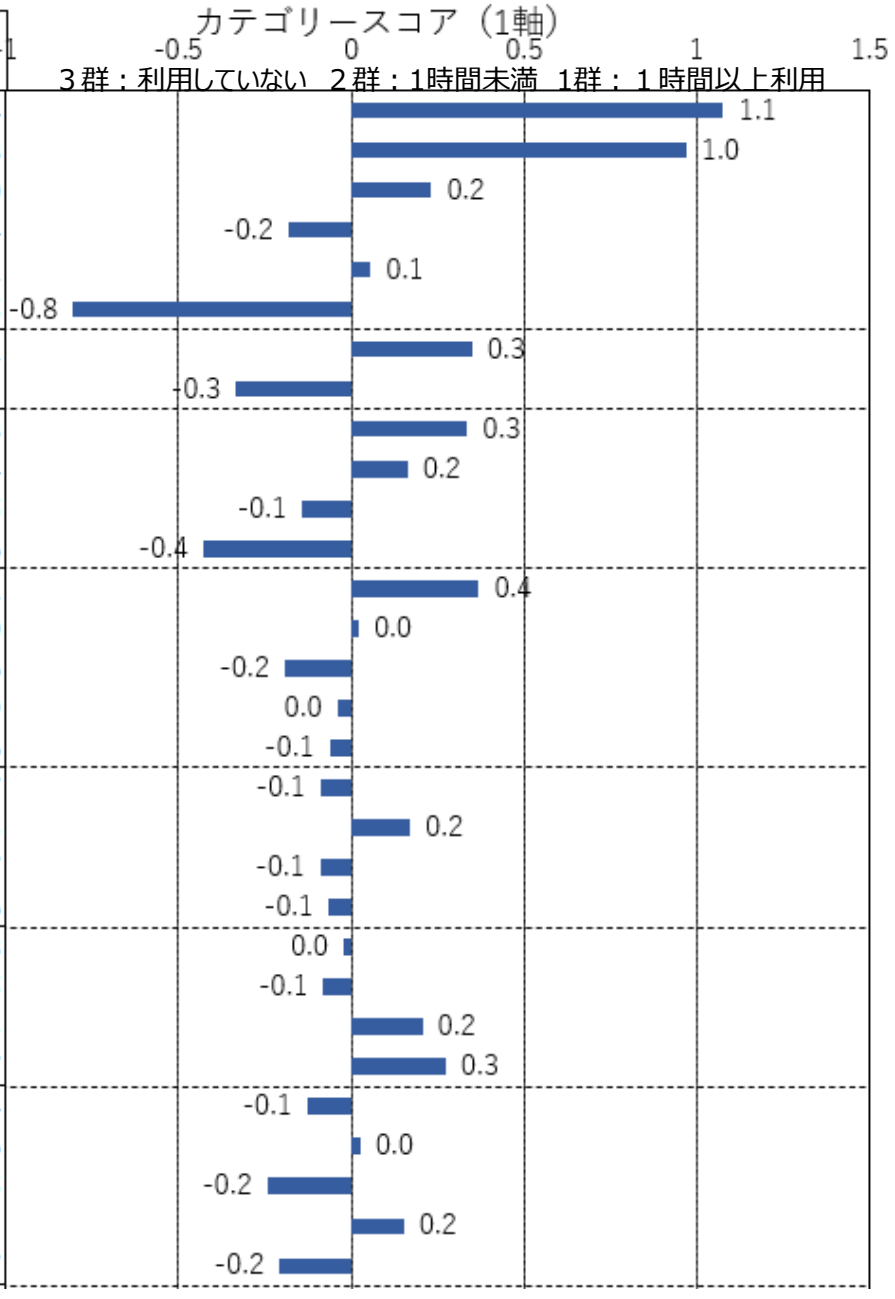
相関比$\eta^2 = 0.333$　判別的中率75.8%　寄与率90.2%



カテゴリースコア（偏相関係数上位）

モデル式

アイテム名	カテゴリー名	n
仕事でPCを利用	20代以前	134
	30代	168
	40代	250
	50代	194
	60代以降	72
	利用していない	415
性別	男性	602
	女性	631
経済的ゆとり	ある	88
	ある程度	564
	あまり	445
	ない	136
現在の仕事	正規	212
	自営	180
	非正規	266
	主婦・主夫	229
	無職	346
外出頻度	毎日	597
	週２～3日	413
	週１日	147
	月１～２以下	76
時間的ゆとり	ある	368
	ある程度	605
	あまり	213
	ない	47
移動手段	鉄道	164
	自動車	756
	バス	65
	自転車・バイク	191
	徒歩のみ	57



カテゴリースコア（偏相関係数下位）

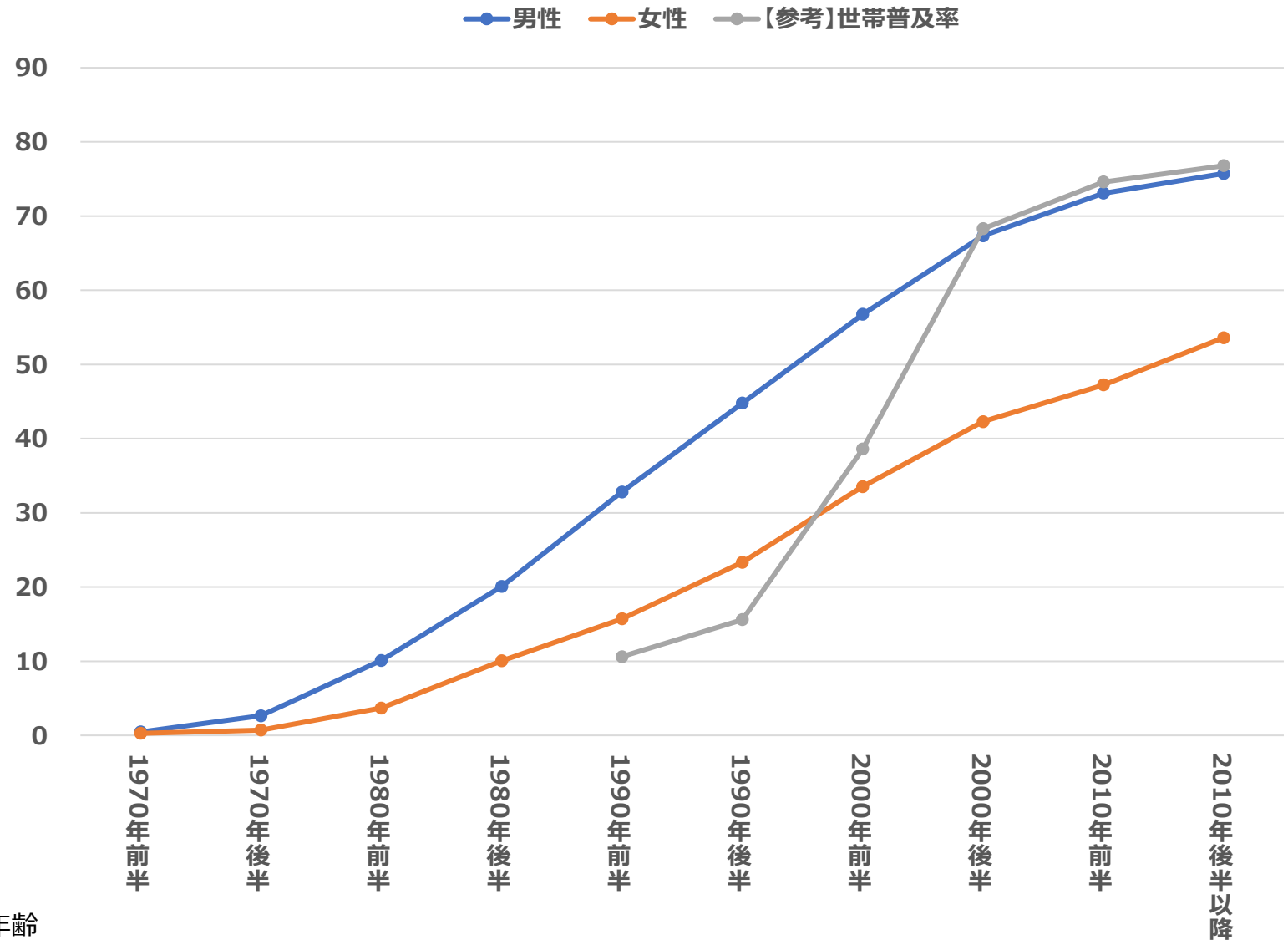
３群：利用していない　２群：1時間未満　1群：１時間以上利用

イノベータ得点	高い	265	0.1
	中間	705	0.0
	低い	263	-0.2
年齢	60代前半	296	0.0
	60代後半	320	0.1
	70代前半	360	-0.1
	70代後半	257	-0.1
都市規模	政令	336	0.0
	20万人以上	297	-0.1
	10万人以上	192	0.0
	10万人未満	408	0.0
即時遅延	即時	168	0.0
	中間	576	0.0
	遅延	489	0.0
地域	関東	482	0.0
	近畿・東海	327	0.0
	他	424	0.0

スマホ・パソコン問わず、利用が多いと最も関係が強いのは
「仕事でパソコンを使い始めたのが若い時期」である

	スマホ利用多い	パソコン利用多い
仕事でのパソコン利用	**若い時期**	**若い時期**
年齢	若い	—
性別	ー	男性
即時遅延	即時傾向	ー
経済的ゆとり	ー	ある

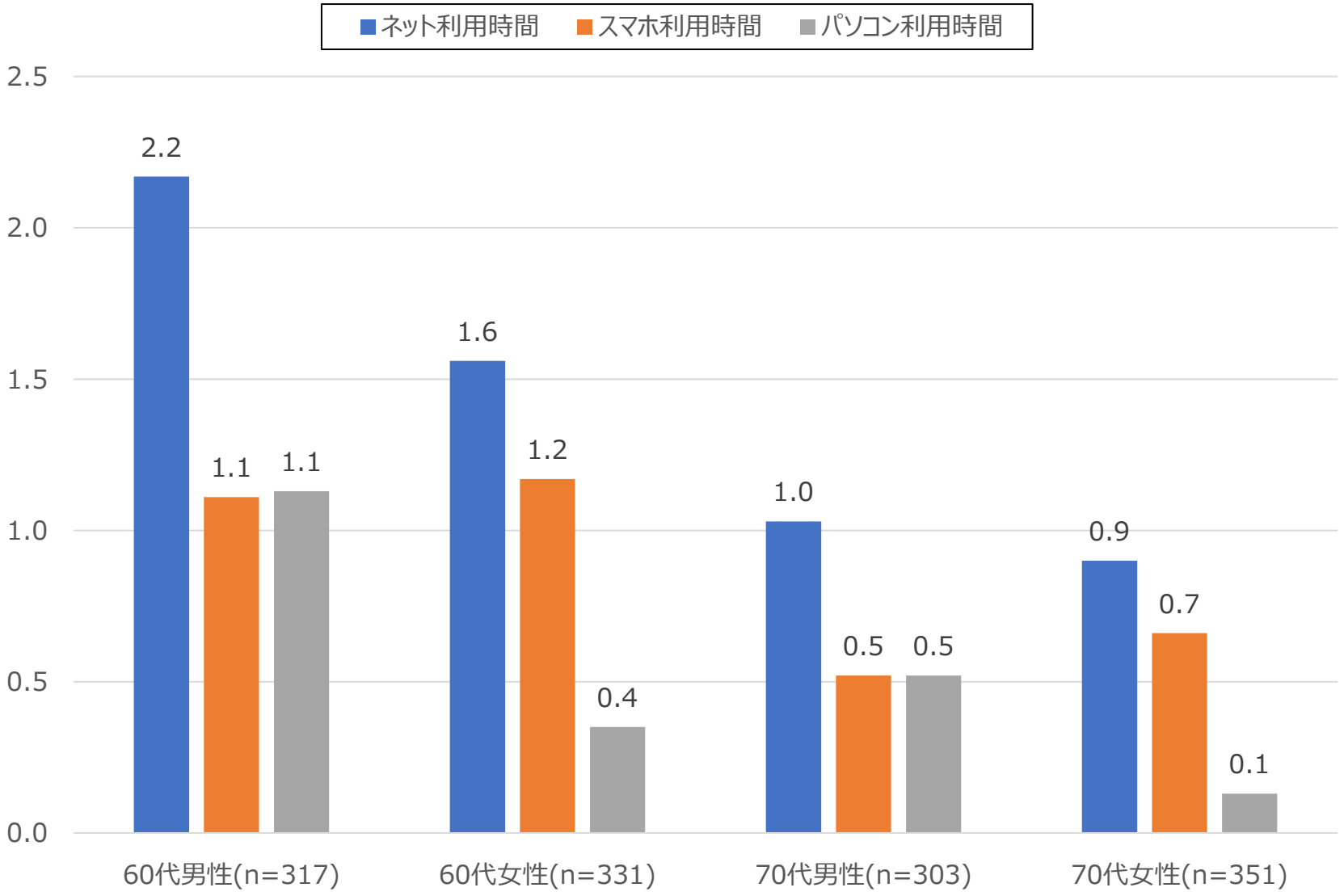
仕事でPCを使い始めた年代



当時の年齢

60代	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59
70代	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69

ネットの利用時間（性年代別）

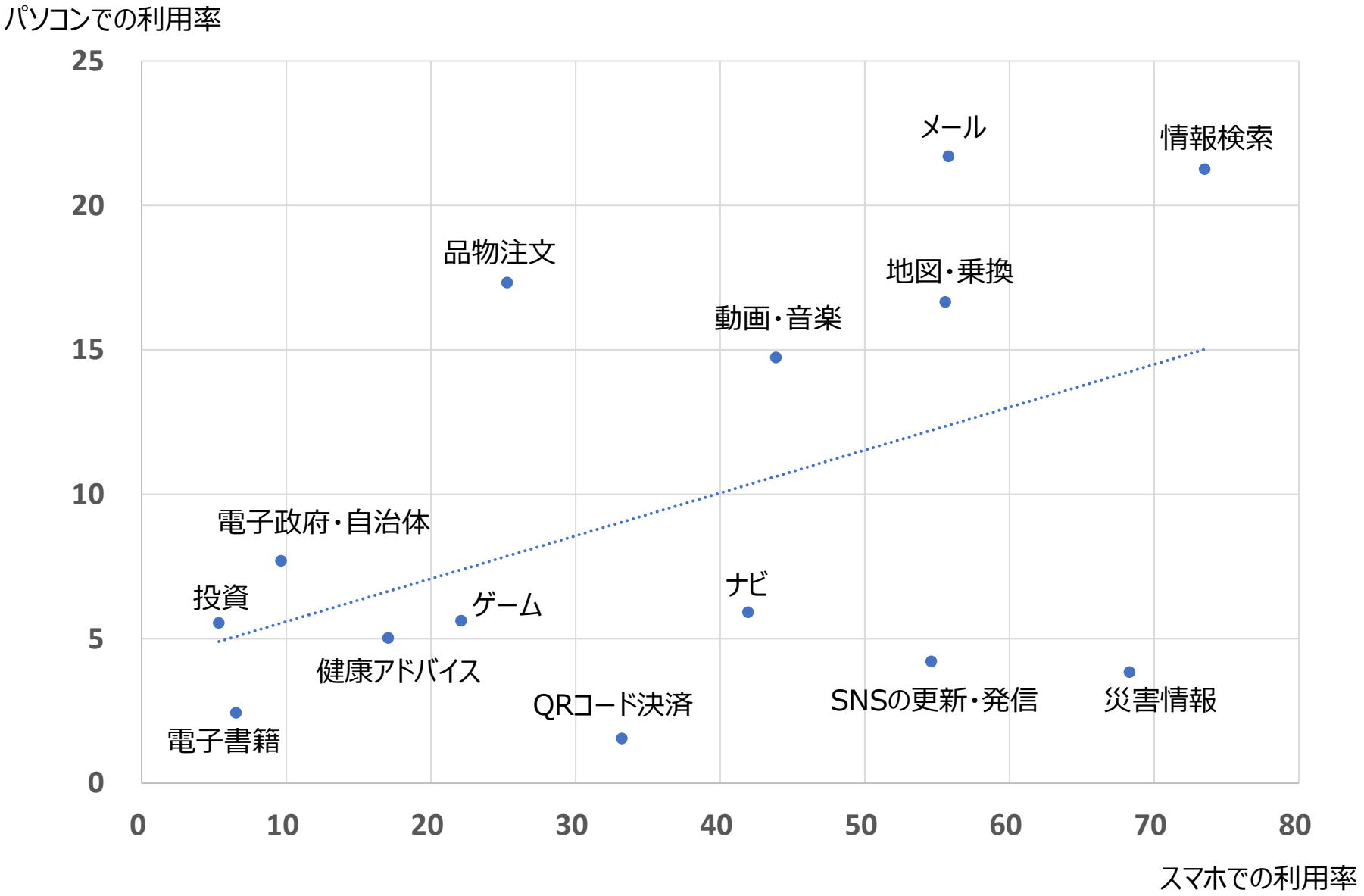


参考文献

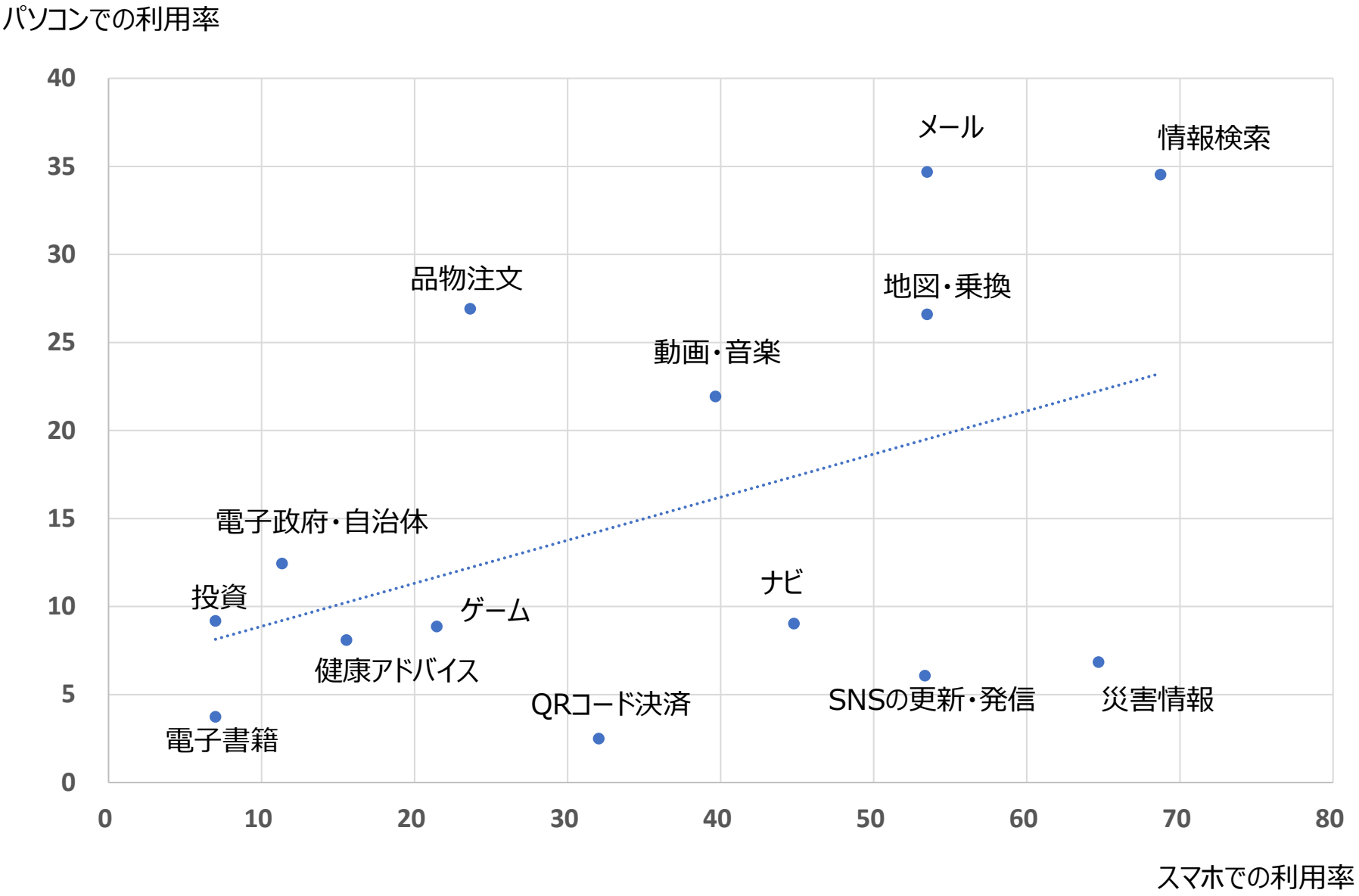
[1]https://www.moba-ken.jp/project/seniors/seniors20230406.html(2023.5.22確認)
[2] 桂瑠以・橋本和幸(2019) 高齢者のインターネット使用が社会的活動及び精神的健康に及ぼす影響の検討『情報メディア研究　第18巻　第1号』,1-12
[3] 太田康博・斉藤雅茂・中込敦士・近藤克則(2022)高齢者のインターネット利用と健康・幸福感の関連『老年社会科学　第38巻第3号』,337-344
[4] 福定正城・斉藤雅茂・近藤克則・斎藤民（2022）対面・非対面交流のタイプ別にみた高齢者の主観的健康：JAGES2019横断研究『厚生の指標2022.10』,1-9
[5] 水野一成・近藤勢津子・吉良文夫(2022) ICTサービスの利用によって生じた「情報格差」が及ぼした「生活の変化」について：年代間、シニア間の差を定量調査で分析『第17回日本応用老年学会大会』
[5] https://www.moba-ken.jp/whitepaper/wp22/img/wp22-8-01.png(2023.5.22確認)
[6] 飽戸弘(1987)『社会調査ハンドブック』日本経済新聞社,300-302
[7] https://www.moba-ken.jp/project/seniors/seniors20230615.html(2023.6.15)

以下、参考資料

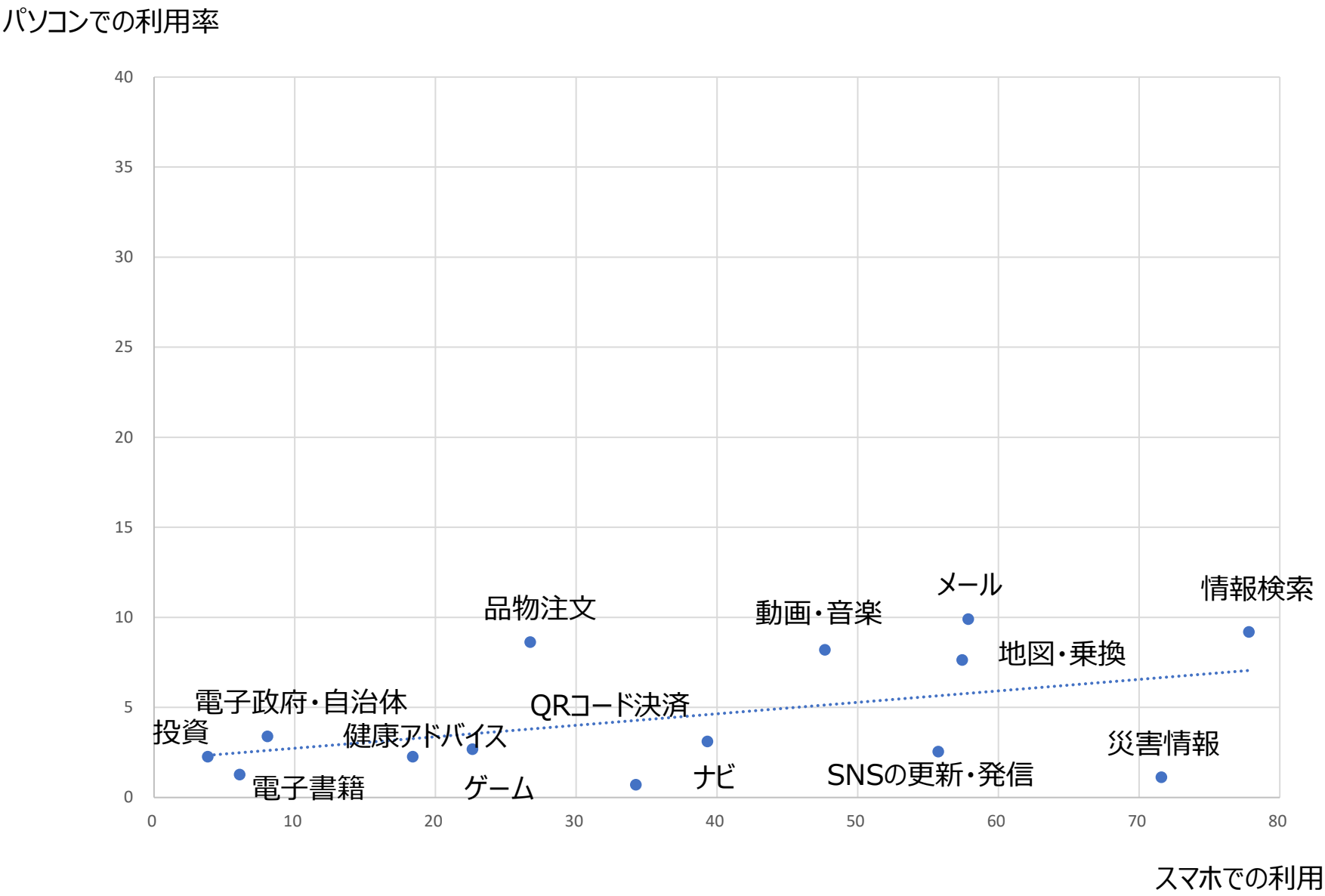
【参考】ICTサービス利用とデバイス



【参考】男性ICTサービス利用



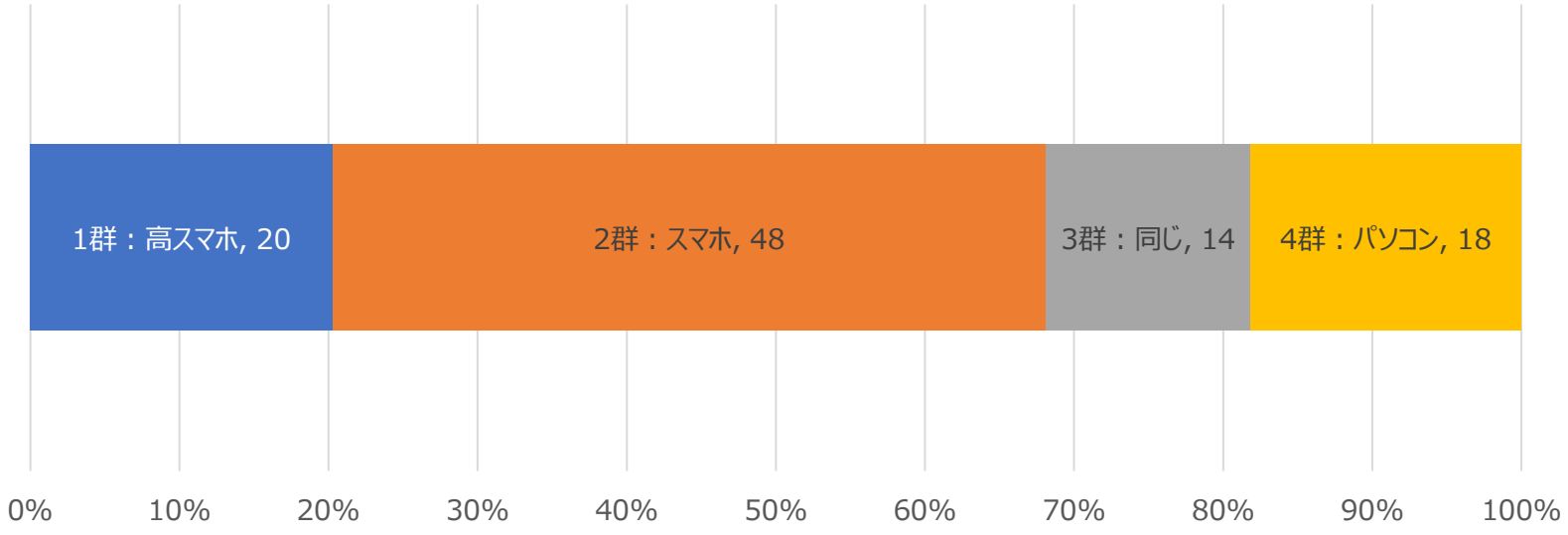
【参考】女性ICTサービス利用



スマホとパソコン　同時比較

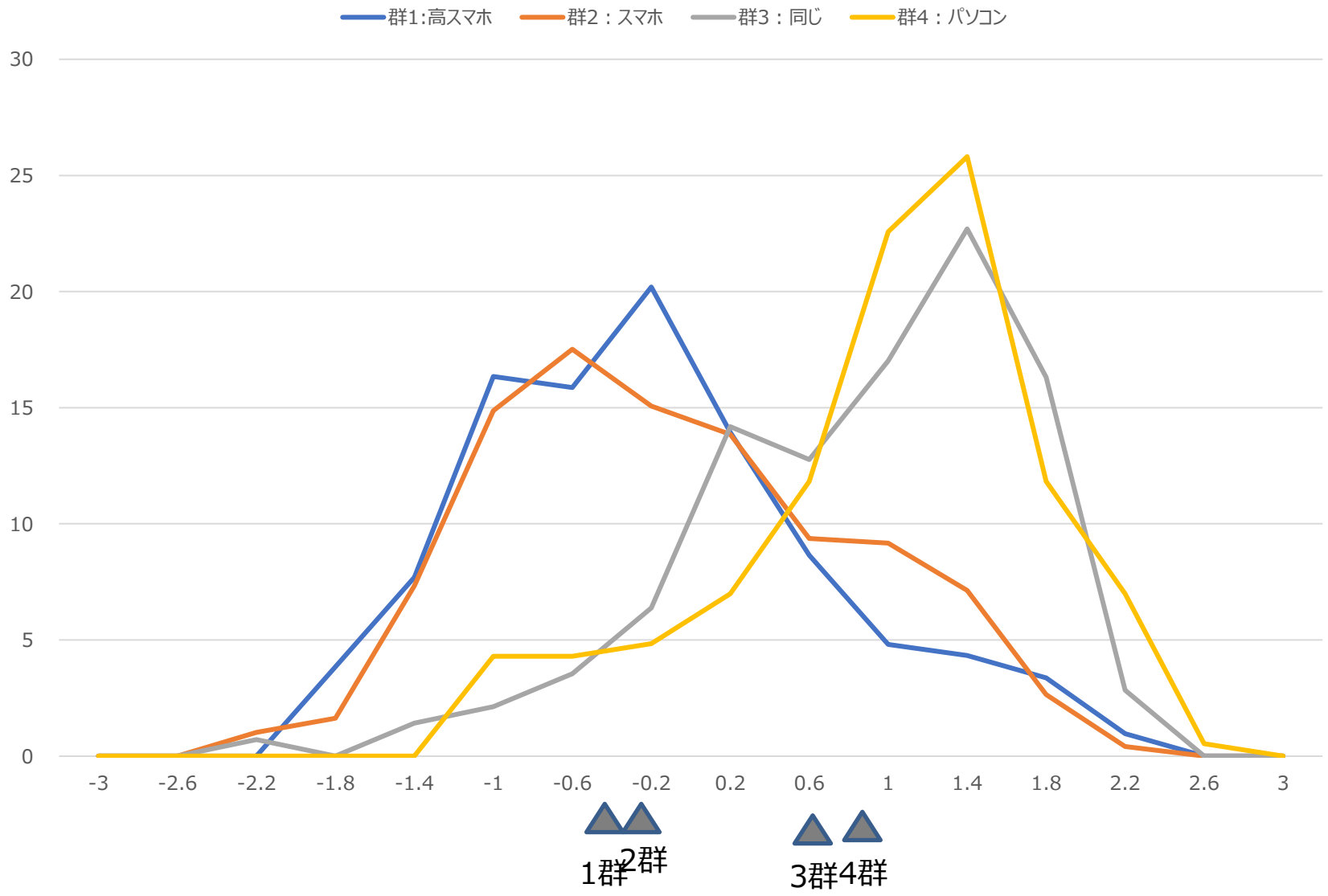
目的変数

スマホ・パソコンを利用している人を対象



※1群、2群の閾値：60分以上スマホが多い

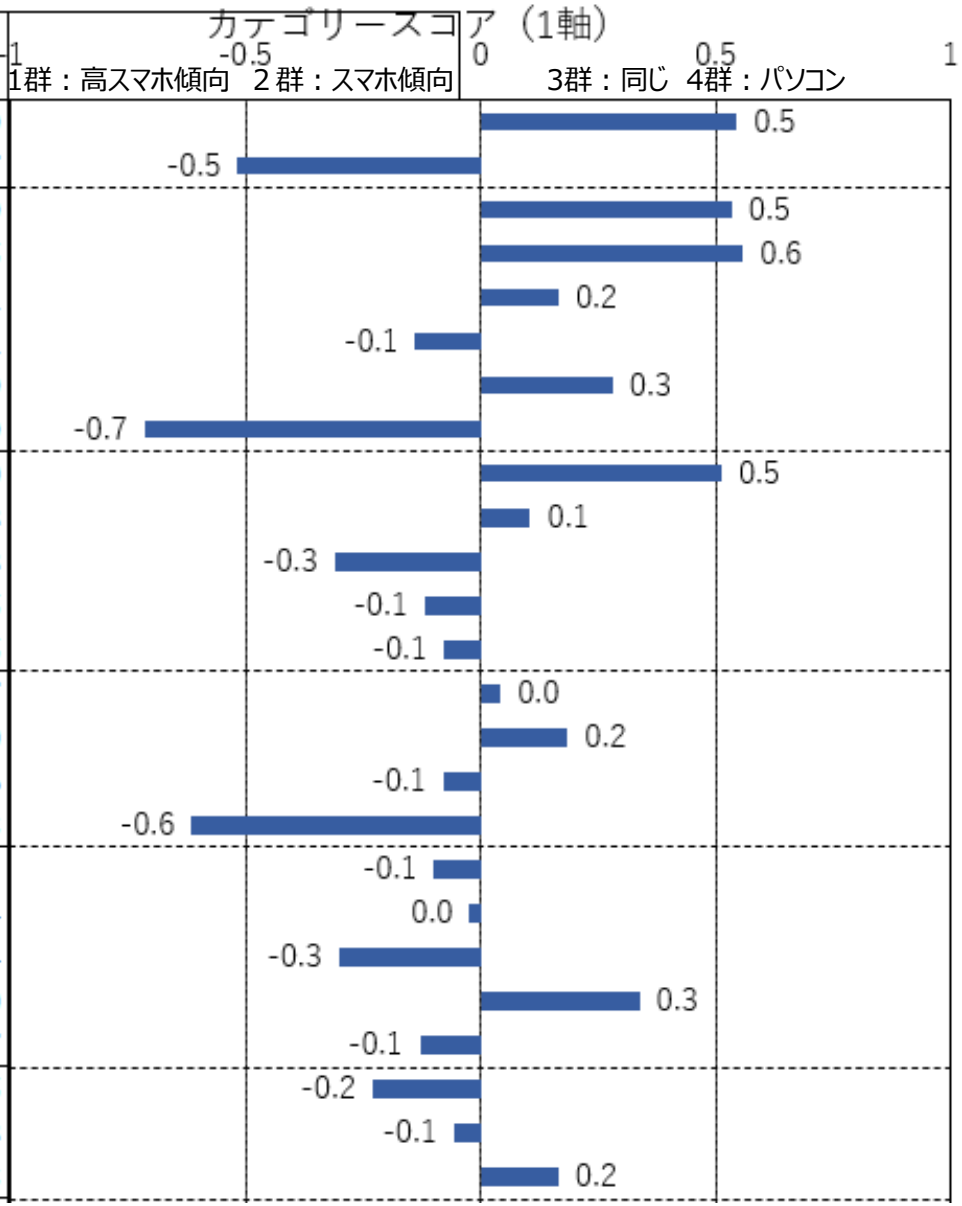
相関比η²＝0.243　判別的中率71.2%　寄与率68.4%



カテゴリースコア（偏相関係数上位）

モデル式

アイテム名	カテゴリー名	n
性別	男性	499
	女性	527
仕事でPCを利用	20代以前	129
	30代	165
	40代	232
	50代	172
	60代以降	59
	利用してい	269
現在の仕事	正規	200
	自営	138
	非正規	238
	主婦・主夫	195
	無職	255
経済的ゆとり	ある	77
	ある程度	480
	あまり	366
	ない	103
移動手段	鉄道	151
	自動車	634
	バス	54
	自転車・バ	150
	徒歩のみ	37
即時遅延	即時	155
	中間	488
	遅延	383



カテゴリースコア（偏相関係数下位）

1群：高スマホ傾向　2群：スマホ傾向　　3群：同じ　4群：パソコン

地域	関東	429	-0.1
	近畿・東海	269	0.0
	他	328	0.2
外出頻度	毎日	534	-0.1
	週２～3日	332	0.2
	週１日	105	0.0
	月１～２以	55	0.2
イノベータ得点	高い	231	0.0
	中間	598	0.1
	低い	197	-0.2
時間的ゆとり	ある	298	0.0
	ある程度	499	-0.1
	あまり	185	0.2
	ない	44	0.2
年齢	60代前半	284	-0.2
	60代後半	292	0.1
	70代前半	273	0.0
	70代後半	177	0.1
都市規模	政令	287	0.0
	20万人以	252	-0.2
	10万人以	158	0.1
	10万人未	329	0.1